

ディスカバー佐倉

第5回

佐倉市と酒々井町にかかる地形を活かし、城の中核をなす内郭群、侍屋敷の外郭群、城下町を同心円状に配した本佐倉城総構え。室町の頃、有力な下総の守護大名であった千葉氏は15世紀後半に築城し、百余年にわたり本拠地とした。その城は、豊臣秀吉の小田原征伐で滅亡した北条氏と共に千葉氏も滅びて廃城となったが、現代に甦りはじめた。



**土の城
本佐倉城は攻め難し**



東山虎口へ

主殿跡のある城山の崖下に広がる東山馬場から、山の麓を左に曲がりながら進むと、月星紋の矢盾がずらりと並ぶ段々の郭跡がひろがる。矢盾の列の北端の先に、東山



東山虎口

を深く削って造った蛇行する狭い通路に東山虎口があり、その先は、左曲がりの狭くて急な下り坂道である。虎口を真下に見下ろす見張台からは天気が好いと筑波山がくっきりと見え、東山の尾根に諏訪神社が建つ。

城山へ

東山虎口からの城山攻めは難しい。城山の崖下に沿った堀底道を進み、城山と奥ノ山を分ける深く狭い大堀切の坂を登ったところが城山側に回り込むとその先が、城山に通じる唯一の道の城山通路

になる。勾配の急な、蛇行する狭い坂道が山の急斜面に延び、突き当りには、直角に曲がる左折れの坂虎口が構えている。ここを登ると、主殿や会所のあった城山郭が開けてくる。



城山通路

奥ノ山へ

大堀切を越えて、奥ノ山の東斜面に沿った、人一人がやっとの狭い道を登ると、奥ノ山(別名:妙見郭)に出る。この地の発掘調査で、妙見宮の跡と推定される基壇が見つかっている。古より北極星は『妙見』として崇められ、千葉氏はこれを軍神として一族結束の象徴とし、月星紋を家紋にしている。



奥ノ山への登り道

セツテイ山へ

セツテイ山は空堀と土塁で守りを固めている。この西側の麓には、遠く北側から墨を流して長い「し」の字を描いたように、城跡最大の高低差16mの空堀が南北に延びている。北側のセツテイ虎口から山に入り進むと、この地に特有の金明竹の群生する竹林を楽しめる。真竹の一種で、節と節の間が緑と黄の縦縞模様がとてもめずらしい。山中は倒木が多いので通行止めになっているところもある。下草が成長すると道が判り難いので注意が必要です。



金明竹の林

● 本佐倉城跡の石標の横に無料の『散策マップ』が備えられています。これを片手に、城攻め側の武将、籠城側の武将、両方の気持ちを思い浮かべて散策すると、本佐倉城の魅力も増すことでしょう。

取材担当/広報委員 徳野 廣一

ハローシニア佐倉

(公社)佐倉市シルバー人材センター



(公社)佐倉市シルバー人材センター ホームページ



高橋 豊明 委員長

会員拡大の取り組みとして、「就業相談・入会説明会」を月に4回実施している。1人でも多くの人に参加してもらえるように、曜日等を変えて3会場(レインボープラザ、志津公民館、ミレニアムセンター)で行い、センターの概要や就労に関する説明と、個別面談を行っています。こうした中で、当分科会が発足した2018年度からの2年間に343人の入会者を迎え、1,021人から1,166人へと目標を上回る拡大が進み、28%台だった女性会員比率が初めて30%に到達しました。

しかし、3年目の2020年度は、入会者数を上回らなかつた。この要因として70歳までの就業機会確保をめざす国の施策と、新型コロナの影響が考えられ、個別的には、「希望する仕事がない」、「就労の機会が少ない」といったことも要因になっていると考えています。

そこで、「新中期計画」で課題のトップに掲げられている「就業先の拡充」の方針に沿って、新たな事業所、新たな職種の開拓に向けて、分科会としても努力していきたいと思っています。

また会員拡大では、昨年度の減少を早期に回復させ、その取り組みの中でこれまで以上に女性会員の拡大に力を注ぎ、女性会員の比率を今年度末には32%になるように、女性部会の取り組みと合わせて推進していくこととしています。

先月号の「事業運営分科会」に続いて、今月は「サポート事業分科会」について高橋委員長へ取材に伺いました。サポート事業分科会は、「会員の拡大」と「就業先の開拓」を担当して、地道に粘り強く会員の持続的拡大等を目指して活動しているところだと説明してくれました。

現在の分科会の委員構成は、理事の高橋豊明委員長と松元富士吉副委員長、会員からはコーディネーターの山崎博巳さんと女性部会の野崎ちづ子さん、三橋照江さん、辰巳くにかさんの6名です。

サポート事業分科会ってなにをする委員会？

ご存知でしたか？
今回は「サポート事業分科会」の活動紹介です

最後に、高橋委員長は、この課題を進めるうえで、対外広報、センターのPR活動がいかに大切かを説明してください、「佐倉市シルバー人材センターのすばらしさを、多くの人に知ってもらい、より認知度を高めていければ、新たな就業先の開拓、新会員の増加に繋がると思う。また会員の皆さんにも身近な友人・知人に口コミでセンターの魅力を語って欲しい」と期待を込めて語ってくれました。

高橋委員長には、ご多忙なところ、取材に応じていただきありがとうございました。

取材担当/広報委員 長谷川 幸雄

● 女性部会委員 辰巳 くにか
シルバー人材センターには去年の8月入会で、まだセンターのことでも理解しておりません。女性部会も発足したばかりですが、新人だからこそ出来ることがあるのではないかと只今模索中です。よろしくお願ひします。

● 女性部会委員 三橋 照江
女性会員拡大・就業先拡大の二大目標に向け、女性部会の取り組み方を模索中です。説明会への参加を手始めに、会員の皆さまのご意見を参考に女性限定説明会や就業先開拓も視野に入れ活動していきたいと思ひます。

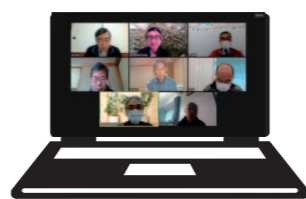
● 女性部会委員 野崎 ちづ子
シルバーに入会して三年目。現在は図書館の仕事に就いています。女性活躍が期待される社会において女性部会からも色々な提案をしていきたいと思ひます。部会の活動を進めるにあたって皆様からの意見、思いをお寄せ頂き、「女性が生き生きと活躍できる魅力あるシルバー人材センター」をめざして行きたいと思ひます。

● コーディネーター 山崎 博巳
ベテランの女性委員に応援してもらって、ただ2年続いている女性比率30%を達成することができましたが、昨年からの続くコロナウイルスによる緊急事態宣言により、雇用状況等が一変しておりますが、コロナ対策を講じながら拡大路線を遂行しています。

● 副委員長 松元 富士吉
入会説明会の充実を図りながら、会員拡大を目指して活動しています。しかし、コロナ禍の影響で計画通りに説明会が開かれず、会員増が厳しい現状です。会員の皆様も、是非お知り合いの方々にシルバーをお勧めください。



(理事会オンライン・ワークプラザ)



(ICT 推進分科会)



(サポート事業分科会)

オンラインで仕事が変わる!!

最近、テレビ等でスタジオではなく、別室から出演している方を良く見かけます。

これは、「オンライン」と言い、通信機器を使用して会話や交流・会議をすることを指します。通信技術が著しく発達したのは、禍にも屈しない人類の英知の産物とも言えます。

働き方が変わりました

当センターにおいても例外ではなく、「働き方を変えよう!」の旗印の下、3密を避けた働き方の改革に取り組んでいます。具体的には、①就業報告書の電送化、②ペイペイ等電子決済方式の導入、③主要会議のオンライン化の推進です。

①と②については、会員及びお客様の利便性を高める努力を推進し、既に実験段階に入っています。

③については、現在、理事会、理事活動委員会でオンライン会議を実施しています。この利点は、事前にメールで送付された資料を基に、PC画面で討議する方式なので、センターに出向くことなく、接触を避けた安全性にあります。

これからも、通信技術を駆使した働き方改革や情報収集が活発になり、世の中が変化して行くに違いありません。私達シニア世代も、流れに追随して行くことで生活も変わるはずですよ。

オンラインへようこそ!

会報などで、「ZOOM」の文字を見かけると思いますが、これはパソコンやスマートフォンを使って、会議等をオンラインで開催するシステムです。当センターでは、従来の対面会議から、このZOOMによるオンライン会議に移行するよう推し進めており、時間制限のない有料のアカウントを3口購入し、会議主催者(ホスト)が使用できるようにしています。

これからは、地区長・班長会議や、職群班のミーティング、担当者同士の打ち合わせなどもオンライン会議で行われるようになっていくと思われます。

パソコン・スマホを活用し、オンライン会議に参加しましょう!

オンライン会議に参加するためには、パソコンやタブレット・スマートフォンでの操作が必要です。そう難しいことはありませんが、とっつきにくいかもしれません。そこで、当センターでは、パソコン班による「オンライン会議講習会」が、3月から4月初旬にかけて、開催されました。これからも会員の要望によっては、不定期に開催するそうです。

オンライン講習会の模様は次号に掲載します。又、今後の開催予定は事務局へお問合せ下さい。皆さん、是非パソコンやスマホを、仕事や生活に役立てましょう!

記事担当
広報副委員長 葛西 正敏



Smile to Smile を利用しよう!

定期便に「Smile to Smile 会員専用ページ開始のお知らせ」が入っていました。どうしたものなのか、担当の事務局総務主任の柿丸さんにお尋ねしました。

Q: Smile to Smileで、どんなことが出来るのですか?

A: センターから、会員個人に対して、インターネットを通じて発信します。当面は、「センターからのお知らせ」と「就業情報」ですが、登録する会員が増えれば「配分金明細の確認」もこのサイトでできるようにする予定です。「就業情報」からは、ボタン一つで、希望登録することができます。また、「お問い合わせ」ボタンからは、センターにメールすることができます。

会員個人のサイトですので、センターに個人のことを伝えることができ、アンケートや講習会の出席確認などもできるようになります。

NRI社会情報システム(株)が運用しているシステムであり、多くのシルバー人材センターが利用しますので、今後普及とともに利用範囲が広がっていくと思われます。

Q: なるほど! パソコンやスマートフォンを使っている会員の多くが利用してくれるようになると、会員とセンターのコミュニケーションを図るのに便利になりそうですね。それでは、どうすれば使えるようになるのですか? 手順を教えてください。

A: ①まず、センター事務局の総務担当に「Smile to Smileを利用したい」と申し込んでください。

② そうすると、事務局から「ログインID・仮パスワード通知書」と「説明書」を郵送します。

③ 次に、センターのホームページを開いて、

 **Smile to Smile** をクリックします。
会員向け専用サイト

下の画面が出るので、ログインIDと仮パスワードを入力して、**ログイン** ボタンをクリックします。なお、ログインIDは、「所属するセンターのID-会員番号」となっています。

④ この初回のログイン時に、仮パスワードをご自分のパスワードに変更してください。なお、パスワードは、半角英字と半角英数字を1文字以上含む、7文字以上としてください。また、半角英字の大文字小文字も区別します。

⑤ メールアドレスの入力が求められますので、ご自分のアドレスを入力してください。

⑥ 入力確認が終わると、登録したメールアドレスにメールが送信されてきますので、届いたメール内のURL (Web ページの住所で、普通 https://で始まる文字列) をクリックします。

⑦ 確認のページが開きますので、④で登録したご自分のパスワードを入力します。これで利用登録の完了です。

詳しくは、Smile to Smile サイトの

[良くある質問はこちら](#) をご覧ください。

Q: なぜ仮パスワードを変更しなくてはいけないのですか?

A: パスワードは秘密の鍵ですから、自分だけのパスワードに変更して大切に忘れないようにしてください。

【語句の説明】

・**ログインとは?**

インターネット上の様々なサービスを利用する際に、予め登録しておいたIDとパスワードを用いて個人データのアクセスする認証行為のことです。

・**(Web)サイトとは?**

インターネットのWebページのまとまりのことです。

Smile to Smile にログインした時のトップページ



記事担当/広報委員長 長田 成兒